仕様

型式の呼び		OH-J33D
種類		気化式・強制通気形・強制対流形
点火方式		高圧放電自動点火
使用燃料		灯油（JIS 1 号灯油）
暖房出力	最大	「強」　3.26 kW（2,800 kcal/h）
	最小	「微弱」 0.76 kW（　650 kcal/h）
燃料消費量	最大	「強」　0.340 L/h
	最小	「微弱」 0.079 L/h
油タンク容量		7.0 L
燃焼継続時間	「強」	20.6 時間
	「微弱」	88.6 時間
電源電圧及び周波数		AC100 V 50/60 Hz
定格消費電力		最大消費電力（点火時）　610 W/610 W 燃焼時消費電力　29 W/ 27 W 運転スイッチ「切」のとき　約 2 W/約 2 W
騒音（正面）※		「強」37 dB 「微弱」23 dB
安全装置		対震自動消火装置 不完全燃焼防止装置 点火安全装置 停電安全装置 過熱防止装置 消し忘れ消火装置
外形寸法		高さ 425 mm ×幅 420 mm ×奥行 282 mm （置台を含む）
質量		10.0 kg
付属品		スポイト

※騒音の数値は JIS 測定法（S3031）に基づく測定値です。

愛情点検　長年ご使用の石油ファンヒーターの点検を！

このような症状はありませんか	●油漏れがする ●白煙が出たり、強いにおいがする ●運転中、異常な音がする ●その他の異常や故障がある	▶	以上のような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため、運転スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	販売店名	☎（　）　－
品番	OH-J33D	お客様ご相談窓口	☎（　）　－

松下電器産業株式会社　リビングサポートシステム事業部

〒639-1188 奈良県大和郡山市筒井町 800 番地

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

OHJ33DB
(OH-H6960BOP0)
S0502N1062

National　石油ファンヒーター　取扱説明書

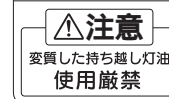
National

石油ファンヒーター
（強制通気形開放式石油ストーブ）

取扱説明書

品番 OH-J33D

保証書別添付

もくじ

このたびは石油ファンヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

正しく使って上手に節約

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	説明
⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度」です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	説明
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

⚠危険

■ガソリン厳禁

ガソリン厳禁

●ガソリン、混合油（農機具用）など揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。
灯油（JIS 1号灯油）を使用してください。

⚠警告

■換気必要

●換気せずに使用しつづけないでください。
●窓の凍結や地下室など換気が十分に行えない場所では、使用しないでください。
酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。

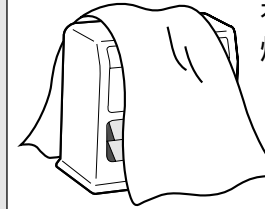
■スプレー缶厳禁

●殺虫剤などのスプレー缶を温風のあたるところに絶対に放置しないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

■寝るとき消火

●寝るときや外出するときは、必ず消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

⚠警告

■温風吹出口をふさがない

●衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。
衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。

■可燃性ガス使用厳禁

●ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー）や、スプレーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

■電源コード・電源プラグを傷めない

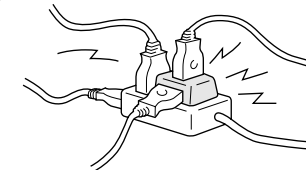
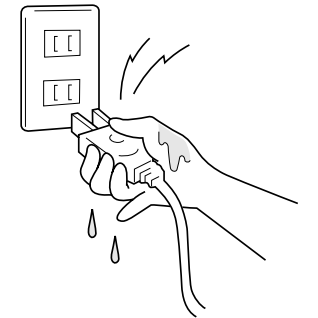
曲げる、ねじる、引っ張るなど無理な力を加えたり、高温部に近づけたり、重い物を乗せたり、束ねたまま使用しないでください。
また、電源プラグを抜くときはコードを持って引き抜かないでください。

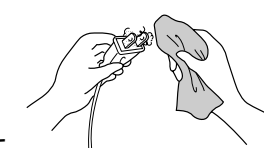
●傷んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。
●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

●感電の原因になります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

●たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■電源プラグのお手入れをする

●ときどき、プラグを抜きほこり等を乾いた布でふきとってください。
●プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

■電源プラグは確実に差し込む

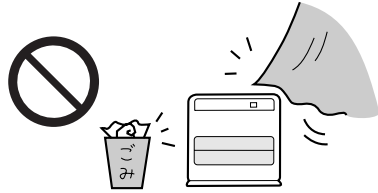
●プラグはコンセントに根元まで差し込んでください。
また、傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
●差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

■デジタル表示に「Ｈ８３」と表示したら、使用しない

●異常燃焼し、火災の原因になります。
●販売店へご連絡ください。

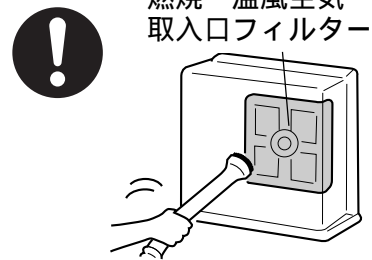
安全上のご注意 必ずお守りください

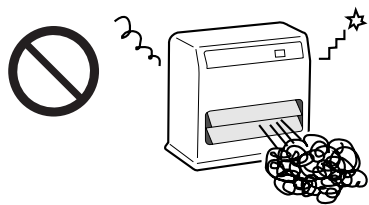
⚠注意

■カーテン、可燃物近接禁止

- カーテンや衣類･ふとんなど燃えやすいもののそばなどでは使用しないでください。
火災のおそれがあります。
タイマー予約するときも、可燃物がそばにないか確認してください。

■給油時消火

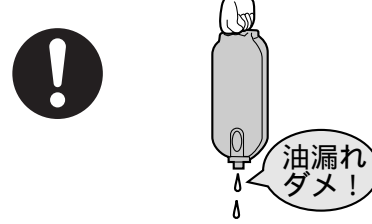
- 給油は必ず消火してから行ってください。
火災のおそれがあります。

■ほこりの除去

- 燃焼・温風空気取入口フィルターは、週１回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどでフィルターがつまると、異常燃焼のおそれがあります。

■異常時使用禁止

- すすの発生、におい、炎の色など異常を感じたときや油漏れがあったときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。
運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

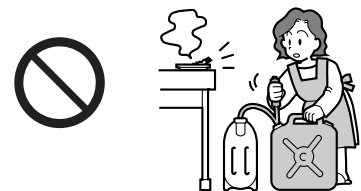
■温風吹出口に異物を入れたり、放置したりしない

- 温風吹出口や吹出口内部に紙、布、プラスチックや、マッチ、ガスライターなどを入れたり、放置したりしないでください。
発火や破裂の原因になります。

■油漏れ確認

- 給油口口金は正しく、確実に締めてください。
- 口金を斜めに締めたりすると、簡単に口金が外れて、火災のおそれがあります。
- 給油口口金を下にして、油漏れがないことを確かめてください。

■保管時は灯油を抜く

- 保管するときや長期間使用しないときは、必ず灯油を抜いてください。
傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。
油漏れや火災のおそれがあります。

■居室内給油禁止・給油時火気禁止

- 給油は必ず居室外の火の気のないところで行ってください。
火災のおそれがあります。

■変質した持ち越し灯油使用厳禁

- 異常燃焼や故障の原因になることがあります。

⚠注意

■高温部に手をふれない

接触禁止

- 燃焼中や消火直後は、温風吹出口に手をふれたり、内部に手を入れたりしないでください。
やけどのおそれがあります。

■温風に直接長時間あたらない

- 低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。
- 温風を直接吸い込まないでください。
気分が悪くなる原因になることがあります。

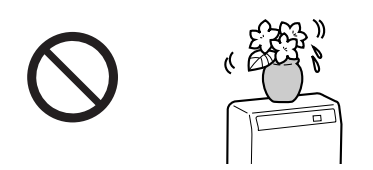
「低温やけど」について

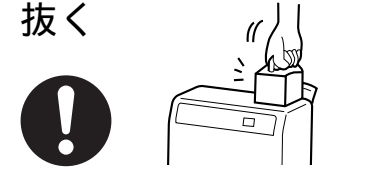
- 比較的低い温度（40℃～60℃）でも長時間皮ふの同じ所が熱せられると、熱い、痛いなどの自覚症状がなくても低温やけどのおそれがあります。
- 次のような方は特にご注意を！
  - ・乳幼児、お年寄り、皮ふの弱い方
  - ・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方
  - ・深酒・疲労の激しい方

特にお子さまやお年寄りなどのご自分で操作できない方が使用するときは、周囲の人が十分注意してください。
お子さまが温風吹出口に直接触れないように保護ガード（別売品：品番 OH-GF1）を使用されることをおすすめします。

■電源プラグを抜いて消火しない

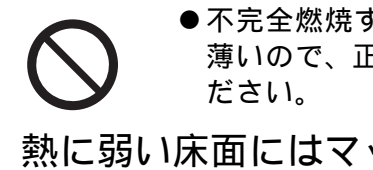
- 消火後、送風が止まるまで電源プラグを抜かないでください。
温風空気取入口や天板が高温になり、やけどや故障の原因となります。
また、強いにおいがでる原因になります。

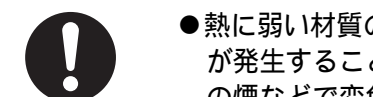
■水をかけたり、重いものを乗せない

- 水の入った容器や物を上に乗せないでください。水が内部に入ると感電や故障の原因になることがあります。
- ファンヒーターの上に乗らないでください。
天板がへこむ原因になることがあります。

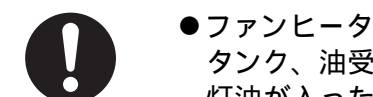
■持ち運ぶときは火を消して給油タンクを抜く

- 傾けないように静かに運んでください。特に階段などでは油漏れのおそれがあります。
- 引っ越し等の運搬時は必ず灯油を抜き、傾けたり、横倒しの状態で運搬しないでください。

■ファンヒーターをひきずらない

- 床面、畳、じゅうたんなどを傷つけたり、本体底面の塗装がはがれて、さびの原因になることがあります。

■高地（標高 1500m 以上）使用禁止

- 不完全燃焼するおそれがあります。空気濃度が薄いので、正常燃焼の確認と換気に注意してください。

■熱に弱い床面にはマットなどを敷く

- 熱に弱い材質の床面は変色、ヒビ割れ、そり返りなどが発生することがあります。また、ほこりやたばこの煙などで変色することもあります。保護のため熱に強いマット（別売品：品番 AOS000-M111A）などを敷いてください。

■廃棄するときは灯油を抜く

- ファンヒーターを廃棄処分するときは、必ず給油タンク、油受皿内の灯油を抜き取ってください。
灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際思わぬ事故になるおそれがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

■お手入れするときは本体が冷えた後、電源プラグを抜いてから行う

電源プラグを抜く

●感電・やけどの原因になることがあります。

■分解修理・改造の禁止

分解禁止

●改造して使用しないでください。
●修理技術者以外の人は絶対に分解、修理は行わないでください。
●故障、破損したら、使用しないでください。異常燃焼や火災の原因になることがあります。

■ファンヒーターを使用している部屋では揮発性シリコーンを使わない

●揮発性シリコーン配合の枝毛用コート液・化粧品・つや出し剤などは使用しないでください。燃焼部にシリコーン酸化物が付着し、異常燃焼や点火ミス、途中消火の原因になることがあります。

揮発性シリコーン配合の商品には下記のようなものがあります。
ヘアケア商品（ヘアートリートメント、ムース、枝毛用コート液）、ガラスクリーナー、制汗剤、カーワックス、化学ぞうきんなど

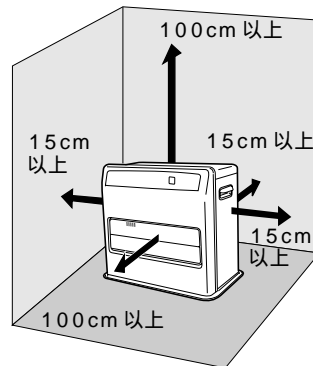
■次の場所では使わない

●水平でない場所、不安定な場所 ●不安定な物を乗せた棚などの下 ●風の当たる場所や部屋の出入口 ●可燃性ガスの発生する場所・たまる場所 ●人のいない場所（温室、飼育室など）	●マントルピースなどファンヒーターが囲われる場所 ●ほこり、湿気、金属粉の多い場所 ●超音波加湿機を使用している部屋	●直射日光が当たる場所
⬇ 火災の原因になることがあります。	⬇ 不完全燃焼の原因になることがあります。	⬇ 給油タンク内の空気が膨張し、灯油があふれ出て、油漏れの原因になることがあります。

■長期間使用しないときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

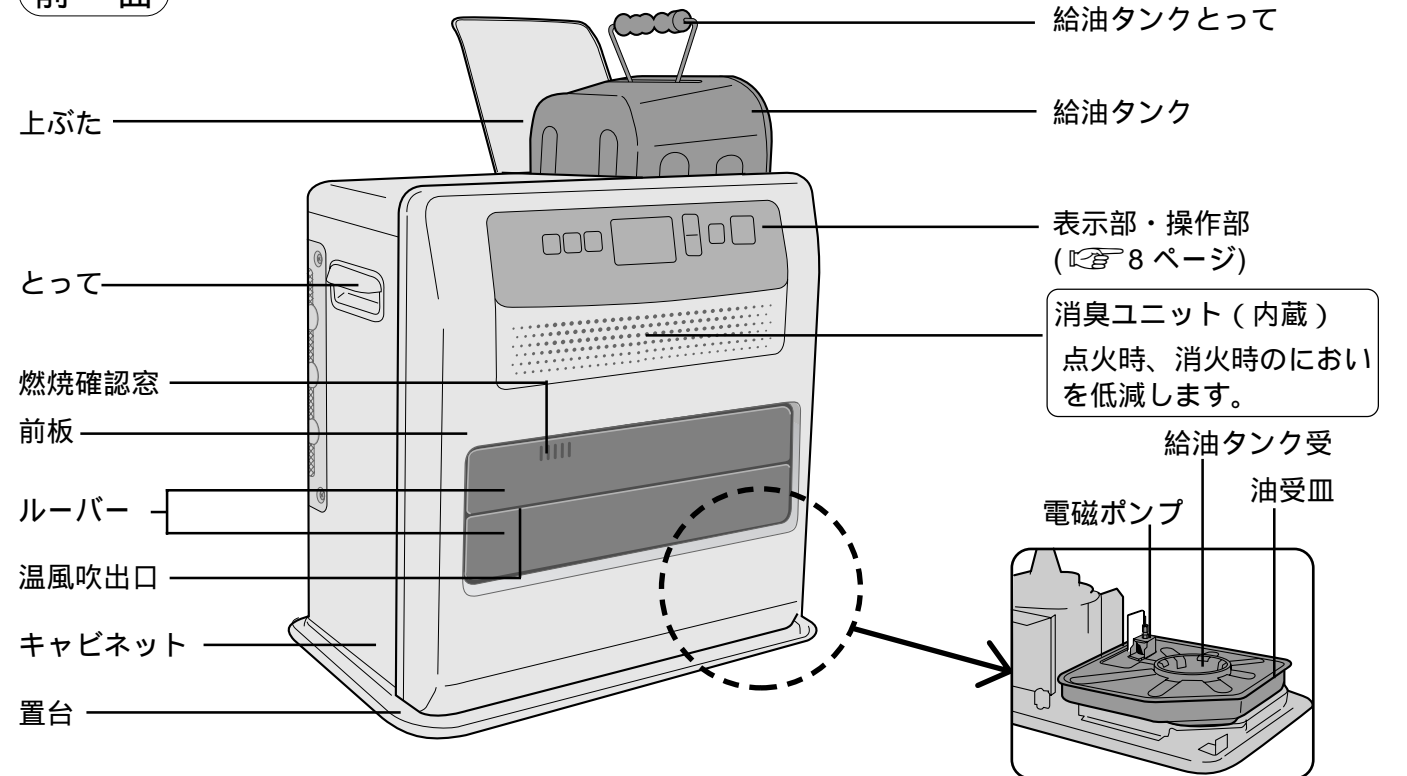
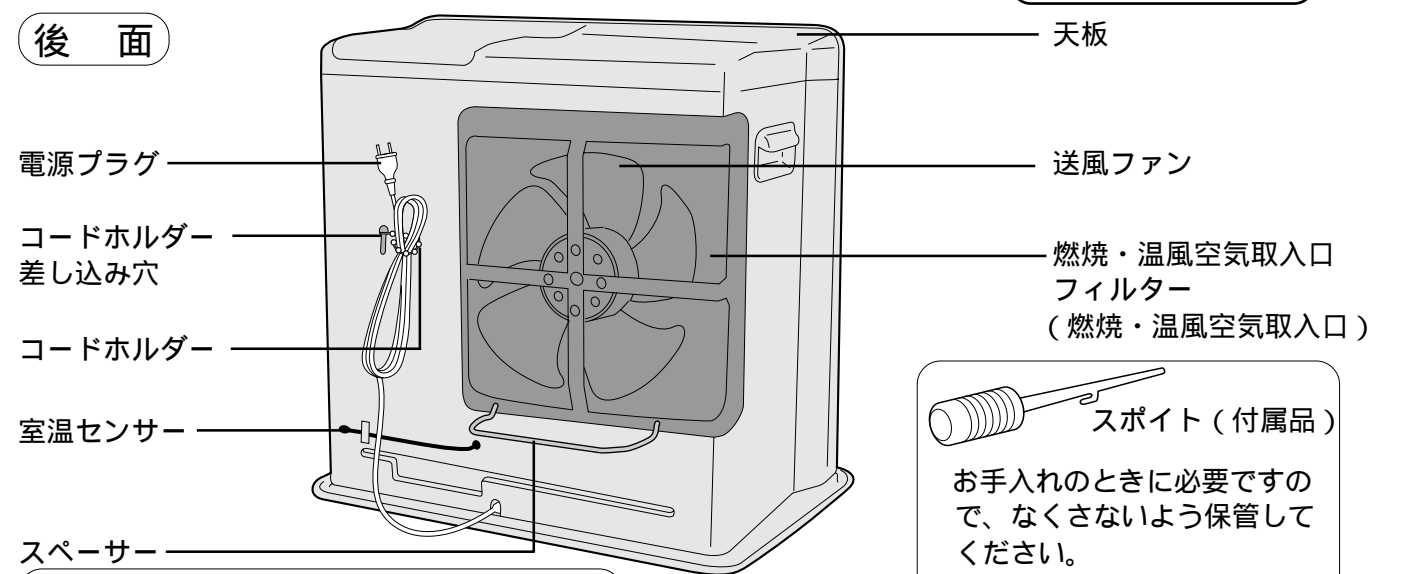
●火災や予想しない事故のおそれがあります。

■可燃物から離す

ふすまや障子などの可燃物から上記の距離をとらないと火災のおそれがあります。

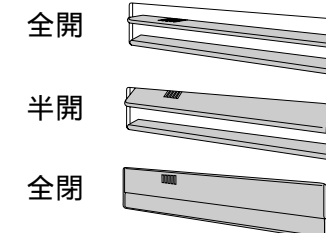
■スプレーや化学薬品を使用する場所で使わない（理・美容院、クリーニング店、メッキ、塗装、脱脂、洗浄工場など）

フロンガスや塩素系溶剤は有毒なガスの発生により、健康を害することになります。また、鏡やガラスなどを傷め、金属がさびたり、繊維製品の変色、損傷、器具の故障の原因になることがあります。

各部のなまえ

本体

ルーバーについて

燃焼量に応じて、自動的に全開から半開きの間で動き、温風の流れ・強さをコントロールします。

全開
半開
全閉

●電源プラグを差し込むと、一度全開し、全閉の状態にもどります。

お知らせ

●運転中、ルーバーを動かないよう固定すると、故障の原因になります。

お使いになる前に

各部のなまえとはたらき

表示部は説明のため、全部表示したものです。実際の運転のときは該当部分が表示されます。

運送時の傷を防止するために表示部・操作部の表面に保護シートを貼っていますので、取りのぞいてください。（コーナー部分にセロハンテープを貼り付け、一緒にはがすとより簡単に取りのぞけます。）

表示部・操作部

バックライト

運転状態を３色（オレンジ、緑、赤）のバックライトでお知らせします。

オレンジ
- 室温が設定温度に達していないとき
- 時刻合わせ、タイマー合わせをしているとき

緑
- 室温が設定温度以上になっているとき

赤
- 給油タンクの灯油がなくなったとき
- 消し忘れ消火装置が作動する前
- タイマー運転で自動消火する前
- 自己診断表示記号を表示したとき

クリーニングボタン

- クリーニング（から焼き）のときに使用。（☞26 ページ）
- 運転中３秒間押すと液晶表示部のバックライトを消灯できます。（☞14 ページ）

残油表示

点灯：油切れ消火までの運転時間のめやすを表示。

点滅：給油をお知らせするブザーが鳴っているとき。（☞13 ページ）

チャイルドロック表示

チャイルドロック中点灯。

デジタル表示

- 運転スイッチ「入」――設定温度と室内温度を表示。
- 運転スイッチ「切」――現在時刻を表示。
- タイマー予約時――設定時刻を表示。（約 10 秒間）
- 給油タンクが「空」になったとき――残りの運転時間のめやすを表示。（少なくとも表示時間以上燃焼します☞13 ページ）
- 故障・異常時――自己診断表示記号を表示。（☞22 ページ）

３時間延長ボタン・ランプ

- 運転を継続・延長するときに。（☞15 ページ）

点滅：消し忘れ消火装置による消火の予告。ピピッピピッ 10 秒間

点灯：自動消火中。

- 3秒間押すと、チャイルドロックになります。（☞15ページ）

運転スイッチ・運転ランプ

運転開始（点火)、消火するときに。（☞14 ページ）

点灯：運転中

点滅：故障・異常時

消灯：停止中

液晶表示部（バックライト付）

省エネボタン・ランプ

- 省エネ運転に使用。（☞17 ページ）

点灯：省エネ運転中。

- ３秒間押すと時刻合わせになります。（☞11 ページ）

スピード点火ボタン・ランプ

点火時間を早めたいときに。（☞20 ページ）

点灯：スピード点火をセットしたとき

タイマーボタン・ランプ

タイマー予約の開始、取り消しに。（☞18､19 ページ）

点灯：タイマー予約・タイマー運転中。

点滅：タイマー運転の終了予告。ピーピー 10 秒間

においとりサイン

においとり動作中をお知らせします。

点滅：点火時：運転スイッチを「入」にしてから点火約 10 秒後まで。
消火時：運転スイッチを「切」にしてから約２分間。

点灯：燃焼中

給油表示

点灯：油切れ予告。（給油タンクが空の状態）（☞13 ページ）ピーピー 5 秒間

点滅：消火が近い時または油切れ消火時。油切れ消火時はデジタル表示部に「U13 」を表示。（☞22 ページ）ピーピー 10 秒間

換気表示

室内の換気が必要なとき、不完全燃焼防止装置が働くと点滅自動消火します。

掃除表示

液晶表示部に「U04」が表示され、燃焼・温風空気取入口フィルターの掃除が必要なことをお知らせし、点滅します。

温度 / タイマー調節ボタン

温度調節・タイマー予約の時刻合わせ、時計の時刻合わせに。（☞11､16､18ページ）

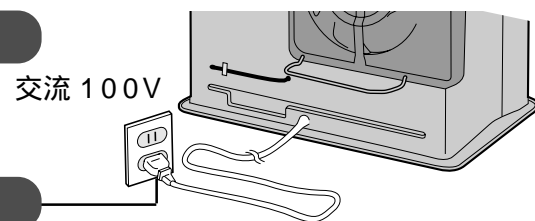
点火する前の準備と確認

ファンヒーターを取り出す

● 各部の包装部材を全て取り除きます。詳しくは、箱上面の「開こんのしかた」をお読みください。

次のことは、工場での燃焼テストによるもので、異常ではありません。
- **油受皿に少量の灯油が残っている。**
- **タンク受フィルターがぬれている。**
- **温風吹出口より見える燃焼筒（炎をかこんでいる筒）が変色している。**

水平を確認する

● 水平で丈夫な床面に設置してください。
● 水平でないときは、水平な場所に移動する。

電源プラグをコンセントに差し込む

● コードホルダーを開き、電源コードをのばして差し込む。
電源コードを束ねたままにしないでください。

お知らせ

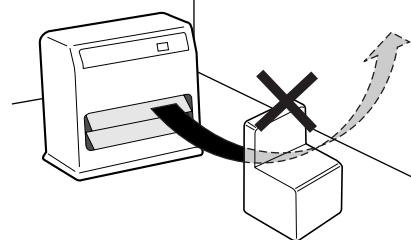
● 電源プラグをコンセントに差し込むと、デジタル表示に「U 10」と表示し、運転ランプが点滅することがありますが、運転スイッチが「入」になっていたためで、異常ではありません。
運転スイッチを押して、「切」にしてください。
デジタル表示が -- -- になり、運転ランプが消灯します。

効果的に使用しましょう

温風の流れを妨げないでください。

時計の合わせかた

1 **を 3 秒間押す**

時刻合せ（3秒押し）

デジタル表示部 --時--分 点滅

● バックライトが点灯。
初めて使用するときや、電源プラグをコンセントから抜いたとき

2 **[－] または [＋] を押し、時刻を合わせる**

● 時計を進めるときは[＋]を押し、もどすときは[－]を押す。
● 1 回押すごとに 1 分単位で変わります。
● 押し続けると、10 分単位で変わります。

5時00分：最初午前 5 時 00 分になり、「時」、「分」が点滅します

15時30分：〈現在の時刻が午後 3 時 30 分の場合〉

3 省エネ **を押す**

時刻合せ（3秒押し）

15時30分

● バックライトが消灯。
● デジタル表示の「時」「分」が点灯に変わり、時計が動きます。

お知らせ

● 電源プラグを抜くと、再度時計の時刻合わせをやりなおす必要があります。
● 夜中の 12 時の場合、表示は 0時00分 です。

お部屋の保温をしましょう

カーテンを二重にして床までにすれば、お部屋の熱を逃さず、暖かさが保てます。

手についた灯油は

サラダ油を少し手につけ、こすりましょう。
その後石けんで洗えばいやなにおいも落とせます。

こぼれた灯油は

こぼれた灯油の上に洗濯用粉末洗剤をふりかけ、灯油を吸い取ります。
あとは、かわいた布でふきとってください。

使用燃料について

燃料は必ず灯油（JIS 1号灯油）を使用してください。

⚠危険

ガソリン厳禁

ガソリン厳禁

● ガソリン、混合油（農機具用）など揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

灯油とガソリンの見分けかた
指先につけ息を吹きかける。
（火の気のない所で行ってください。）
● 灯油はぬれたまま
● ガソリンはすぐ乾く
（区別がつきにくいときは、お買い上げの燃料店にお問い合わせください。）

⚠注意

変質した持ち越し灯油使用厳禁

● 異常燃焼や故障の原因になることがあります。

■変質灯油・不純灯油は使わない

変質灯油とは
● 古い灯油（昨シーズンより持ち越した灯油）
● 日光の当たる場所、高温の場所で長期間保管した灯油。
（特に乳白色のポリ容器や容器のふたをあけて長期間保管したものは変質しやすい。）

極度に変質したものは黄色味がかったり、酸っぱい臭いがします。

不純灯油とは
● 灯油以外の油（てんぷら油や機械油、重油、ガソリン、シンナー）などがほんのわずかでも混入した灯油。
● 水やごみ、ドラム缶のさびなどが、混入した灯油。
● 灯油水抜剤や助燃剤を添加した灯油。

変質灯油や不純灯油を使用すると故障の原因になります

● 点火しにくくなったり、白煙が出ます。
● 消火時のにおいが強くなったり、点火してもすぐ消えたり、暖まらないようになります。
● 燃焼が悪くなり、においがしたりして、安全装置が作動します。

➡

万一変質灯油や不純灯油を使用したときの処置

● 不良灯油を除き、給油タンク、油受皿の内部をきれいな灯油で洗い、クリーニング（から焼き）をしてからご使用ください。
（☞26ページ「クリーニング（から焼き）」）
● それでも効果のないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。（分解・点検が必要です）

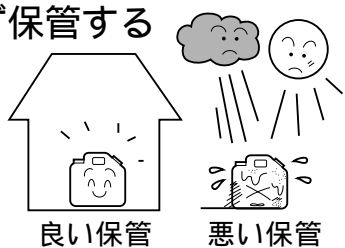
変質灯油、不純灯油が原因でサービスを依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

■灯油の保管のしかた

火気、雨水、ごみ、高温及び直射日光を避けた場所に必ず保管する

● 灯油は翌シーズンに持ち越さない
シーズン終了前に使いきってください。
● 灯油は直射日光を避け、青や赤など着色されたポリ容器（灯油用）で保管してください。ポリ容器のふたは確実にしめてください。

● ポリ容器に雨水がかからないようにポリ容器の灯油に水が混入し、燃焼不良の原因になります。

良い保管　悪い保管

お知らせ

● 灯油が変質しているかどうか別売品でチェックできます。
品名：変質灯油検知管（チャロンボ）　品番：ASP-02（3本入り）　ASP-14（1本入り）

給油のしかた

必ず消火してから行ってください。

1 給油タンクを取り出し、逆さにし、口金をはずす

● 給油タンクを取り出すときは、こぼれた油はふき取る。
● 口金に砂やごみがついたり、入ったりしないように注意する。（回転が重くなります）
● 給油口、口金にさび、変形、回転不良および破損がないか確認する。
（☞24ページ「給油タンクの点検」）

「カチッとキャップ」について

口金（カチッとキャップ）　ひらく　しまる　砂やごみに注意

● 口金が締まると、バネの力で「カチッ カチッ」と音がして、確実に締まったことをお知らせします。
● 口金の外側を持つと手が汚れにくく、回しやすくなります。

2 給油する

● 給油タンクを下図のようにして、油量計を見ながら、上限をこえないように給油する。
● こぼれた油は、ふき取る。

3 「カチッ　カチッ」と音がするまで口金を締める

● 口金のねじ山を正しく合わせて締める。
斜めにして締めないでください。
●「カチッ　カチッ」と音がしたら、元に戻さないでください。
● 給油タンクを⇨の方向に少し傾けて、給油タンクとってを持ち、口金を下にして油漏れがないか確かめる。

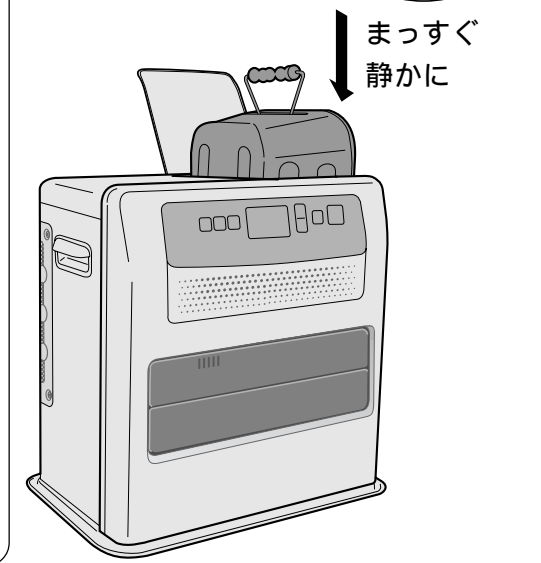
給油タンクとって

4 給油タンクを本体に静かにもどす

● 給油タンクとってを前後方向に合わせ、本体にセットする。
前後どちらの向きでもセットできます。
● 灯油が油受皿に入るまで約1分待って点火する。

残り燃焼時間表示について

給油タンクの油がなくなるとバックライトが赤に変わります。

● 給油 と 残油 表示が点灯。ブザーが5秒間鳴り、デジタル表示に油切れ消火までの運転時間のめやすを表示します。
〔約80分と表示。残り燃焼時間は約80分という意味です〕
● 燃焼は弱から微弱の間で燃焼します。
運転時間のめやすは弱で燃焼が続いた場合を表示します。
したがって表示時間以上の運転が可能です。
（お部屋が暖まっている場合などは、表示時間より大幅に燃焼時間が長くなります）
● 表示は 約80分 約70分 のように10分きざみで切り替わっていきます。
約60分 約30分 のときはブザーが5秒間鳴ります。
約10分 に変わってから油切れ消火までは 約10分 の表示を続けます。
その後ブザーが5秒間鳴り、給油 表示が点滅し、油切れ消火が近いことをお知らせします。ブザーが5秒間鳴っている間は 残油 表示は点滅、それ以外は点灯します。

お知らせ

● 給油口周辺が多少黄色くなることがありますが、異常ではありません。
● ナショナルオートポンプ（専用口金付き）BH-514F他、専用口金BH-461が使えます。
カチッとキャップを専用口金に取り替えてお使いください。

点火・消火のしかた

安全のため運転開始後３時間で自動消火します。

点火するとき

を押す（確実に押さないと、運転ランプが消灯し、点火しません）

約２分後、自動点火し、ルーバーが開き、送風が始まります。

- 運転ランプとバックライトが点灯。
- デジタル表示に設定温度と室内温度を表示します。
- 運転スイッチを「入」にしてから、点火約１０秒後までにおいとりサインが点滅し、燃焼中は点灯になります。

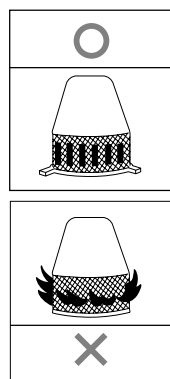
（例）

安全のため運転開始後３時間で自動消火します。

- 運転ランプとバックライトが消灯します。
- ３時間延長ランプが点灯します。

運転中にバックライトを消したいとき

を３秒間押す

- バックライトが消灯。
- 運転スイッチを「切」にして再度「入」にするとバックライトはもとにもどります。再度 を３秒間押してももとにもどります。

燃焼確認窓から炎の状態を確認する

燃焼確認窓

正常燃焼（青色の炎）
- 次のような場合は異常ではありません。
- ➡黄色の炎が時々まじる。
- ➡弱燃焼時に網の部分が赤く見える。

異常燃焼（黄火燃焼）
- 次のような場合は異常です。
- ➡大きな黄火が出る（すす発生の原因になります）
- ➡音やにおいがする。
- 運転を止めて、お買い上げの販売店へ連絡してください。

お知らせ
- 点火時、「パチパチ」と音がしたり、数回「カチッ」と音がして、お部屋の照明が一瞬変化することがありますが、異常ではありません。
- 運転スイッチを「切」にした状態でも、約２W の電力を消費しています。

お願い
- 超音波加湿機を使用している部屋ではファンヒーターを使わないでください。
  赤褐色の炎になったり、水質によってはファンヒーターが故障する原因になります。

消火するとき

を押す

消火

- 運転ランプ、液晶表示部のバックライトが消灯。
- 燃焼が停止し、ルーバーが閉じ、一旦送風が止まります。
- 内部の温度を下げるため、再度ルーバーが開き送風します。
- 約3.5分後ルーバーが閉じ送風が止まり、運転が停止します。
  点火後1分以内に消火すると上記動作になりません。
- 点火後運転スイッチを「切」にすると約2分間はにおいとりサインが点滅します。

運転を継続・延長したいとき

安全のため運転開始後３時間で自動消火します。（消し忘れ消火装置により、万一の事故を防ぐため）

部屋の換気をしてから

を押す

- 運転中はいつでも押したときから３時間運転を継続できます。
- ２時間４５分経過したとき３時間延長ランプ点滅。

この時に 3時間延長 を押すと、消火せずに運転を継続できます。

- 自動消火したとき
  3時間延長 を押す
  押したときから３時間運転します。
  押すとルーバーが一度全開し、もとの状態にもどります。

チャイルドロックのしかた

お子さまのいたずら操作を防ぐことができます。運転中でも運転していないときでも、チャイルドロックできます。

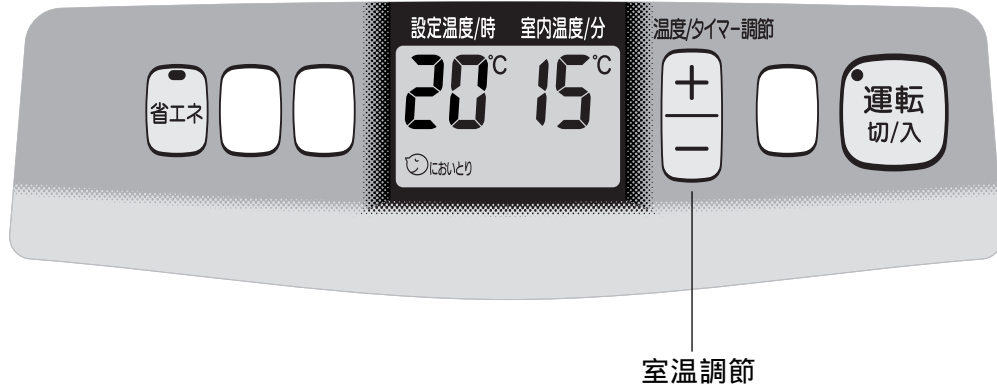
をピッという音が鳴るまで約３秒間押す

- 液晶表示部に 🔑 と表示します。
- 取り消すときは再度 3時間延長 をピーという音が鳴るまで約３秒間押す
- 液晶表示部の 🔑 という表示が消えます。

お知らせ

液晶表示部に 🔑 を表示しているときはすべての操作ができません。
- ただし、運転中は運転スイッチを「切」にできます。
- チャイルドロックを取り消さないと、運転スイッチは入りません。
- 電源プラグを抜いたり、停電した場合、チャイルドロックは取り消されます。

室温調節のしかた

12℃から 30℃の範囲で室温調節できます。

1 運転 切/入 を押す
（運転中は押さなくてよい）

● 運転ランプとバックライトが点灯。

2 または ＋ を押す

温度を下げるとき　（例）
− を押すごとに 1℃ずつ下がります。　20℃ ▸ 19℃ ▸ 18℃ ▸…▸ 12℃

温度を上げるとき　（例）
＋ を押すごとに 1℃ずつ上がります。　20℃ ▸ 21℃ ▸ 22℃ ▸…▸ 30℃

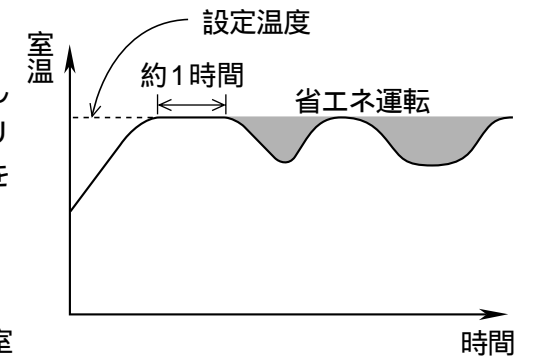
● 12℃以下、30℃以上は設定できません。（ブザーでお知らせします）
● 押し続けると連続して温度が変わります。
● 一度セットすれば記憶されます。

お知らせ

● 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定温度は記憶されています。再度セットする必要はありません。
● 室温の表示は、室内平均温度のめやすです。設置条件等により必ずしも寒暖計の温度とは一致しません。
● 給油 表示が点灯しているとき、燃焼は「弱」以下になります。
● 室温が 0℃以下でも「0℃」が表示されます。
● 暖かい日（秋口や春先など）狭い部屋でご使用になる場合、室温が設定温度より上昇することがあります。（暖房負荷が小さいために、微弱燃焼でも暖めすぎになります）このようなときは省エネボタンを押してください。

省エネ運転のしかた

省エネ運転とは

室温を低めに変化させると、皮膚の温度が固有のリズムで変化します。そのリズムに合わせて室温をゆらがせること（生体適応リズム）で、身体に感じる温度を変えることなく、燃焼量と風量を自動的に下げ、節約暖房を実現した機能です。
長時間（3 時間以上）暖房される場合に省エネ効果があります。
● 使用条件によって、省エネ効果は変ります。
● 秋口や春先、断熱性の高いお部屋でお使いになるときなど、室温がすぐに高くなるような条件では、設定温度より 3℃上がると消火し、設定温度より 1℃下がると点火します。

省エネ運転のしかた

1 運転 切/入 を押す（運転中は押さなくてよい）

● 運転ランプとバックライトが点灯。

2 省エネ を押す

● 省エネランプが点灯し、省エネ運転を開始します。
● 運転スイッチを「切」にしても、一度セットすれば記憶されます。

省エネ運転の取り消しかた

 を再度押す

● 省エネランプが消灯し、通常運転にもどります。

お知らせ

● お部屋の温度が設定温度になって約 1 時間後から省エネ運転を開始します。省エネ運転をセットして、省エネランプが点灯してもすぐには省エネ運転にならないことがあります。
● 省エネ運転中は室温が設定温度より低めに（最大 2℃）表示することがあります。
● タイマー予約にすると省エネランプは消灯しますが、省エネ運転は取り消されません。
● 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは省エネ運転の設定は取り消されます。
● 省エネ運転が設定された状態で運転スイッチを「入」にした場合、点火してから約 5 分間強制的に燃焼します。
● 省エネ運転中に自動的に点火・消火をしたとき、においとりサインはそれに合わせて点滅したり、点灯したり、消灯したりします。

タイマー予約のしかた

あらかじめお部屋を暖めておきたいときにご使用ください。

■あったかタイマー機能

お目ざめの時には暖かくなるように、設定した時刻より早く（5〜15分前）運転を開始します。
室温が16℃未満のときはその日のお部屋の温度によって点火する時刻が変わります。
室温が16℃以上のときは設定した時刻に運転を開始します。

タイマー時刻の合わせかた

1 現在の時刻を確認する
(☞11 ページ)

● 現在の時刻を合わせていないときはタイマー予約できません。

2 運転 切/入 を押す
（運転中は押さなくてよい）

● 運転ランプとバックライトが点灯。
● 運転スイッチが「入」になっていないとタイマー予約できません。

3 タイマー を押す

● タイマーランプ点灯。
● デジタル表示の「時」「分」が点滅。
● タイマー表示が点滅。

4 － または ＋ を押し、時間を設定する

約5秒後自動的にタイマー予約になります。

タイマー時刻の設定だけしたい場合は、タイマーを押してタイマー予約を取り消してください。

「時」「分」が点滅している間に合わせてください。
（例）午前6時30分に予約したいとき
デジタル表示の表示を 6時30分 に合わせる

● ＋ を押すごとに進み、－ を押すともどります。
● 1回押すごとに10分ずつ変わります。
● 押し続けると表示が連続して変わります。
● 約5秒後運転ランプが消灯し、燃焼中の場合は自動消火します。

お願い

● 停電したときは（再通電後運転ランプ点滅）
デジタル表示に「U 10」が表示されます。
運転スイッチを「切」にし、手順「1」からやりなおしてください。

● 強い地震や衝撃があったとき（運転ランプ点滅）
デジタル表示に「U 12」が表示されます。
運転スイッチを入れなおし、タイマーボタンを押してください。

タイマー予約のしかた　安全のため約1時間で自動消火します。

1 運転 切/入 を押す
（運転中は押さなくてよい）

● 運転ランプとバックライトが点灯。

2 タイマー を押す

約5秒後「ピピッ」と音が鳴り、
運転ランプが消灯します。
燃焼中の場合は、自動消火します。

● タイマーランプ点灯。
● タイマー設定時刻を表示。（10秒間）
● 約10秒後に時計表示になり、タイマー表示とバックライトが消灯します。

■タイマー運転中

設定時刻になると自動的に点火

● 室温が低いほどあったかタイマー機能によって設定時刻よりも早く運転を開始します。

消火する10分前

● ピーピーと10秒間鳴り、タイマーランプ点滅。
● バックライトが赤に変わります。

約1時間燃焼し、自動消火

● 運転ランプとバックライトが消灯。
● タイマーランプは点滅のまま。

■自動消火させずに続けて暖房したいときは

燃焼中に タイマー を押す

● タイマーボタンを押して、タイマー運転を取り消してください。
● タイマーランプが消灯します。

タイマー予約の取り消しかた

タイマー を再度押す

● タイマーランプ消灯。
● 運転ランプ点灯。
約2分後自動点火します。

お知らせ

● 毎日同じ時刻にお部屋を暖めておきたいとき
運転スイッチを「入」にし、タイマーボタンを押すだけで予約できます。
● タイマー予約後にタイマー時刻を変更したいときは運転スイッチを入れなおし、18ページの手順「3」からやりなおしてください。

● タイマー時刻のバックアップ機能について
電源プラグを抜いたり、停電した場合は現在の時刻を設定しなおしてください。タイマー時刻は一度セットすれば記憶されますので、予約しなおす必要はありません。

スピード点火のしかた

■スピード点火とは

- お出かけ前にあらかじめ（運転スイッチを「入」にする10分以上前）、スピード点火をセットしておけば、外出から帰ったときすぐに点火できます。スピード点火は約10秒で点火できます。（通常点火は約2分）
- 点火時間を早めるため、運転スイッチが「切」でもバーナーを予熱するしくみになっています。
  そのため平均100Wの電力を必要とします。
  節電のためスピード点火を必要としないときは、取り消してください。

1 あらかじめ

を押しておく

- スピード点火ランプ点灯。
- 再度押すとスピード点火は取り消されます。
- スピード点火ボタンを押してから10分経過しないとスピード点火機能は働きません。

2 運転 切/入 を押す

- 運転ランプとバックライトが点灯。

　↓ 約10秒後

- 自動点火し、温風がでます。

お知らせ

■スピード点火ボタンを押してから24時間以内に点火操作しないと、スピード点火は自動的に取り消されます。

■下記のことはバーナーを予熱しているためで、異常ではありません。
- 時々、「カチッ」と音がして、お部屋の照明が一瞬変化することがあります。
- 本体が熱くなりますが、異常ではありません。
- においがすることがあります。

■電気のむだを防ぐため、次の場合は予熱しないようになっています。

タイマー予約中
- スピード点火ランプは消灯しますが、スピード点火のセットは取り消されません。
- タイマー予約を取り消しても、スピード点火ランプは点灯しますが、予熱していないためすぐにはスピード点火はしません。

燃焼中
- スピード点火ランプが点灯していますが、予熱していません。

故障かな？

修理・サービスを依頼されるまえに次の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	原因（安全装置）	処置方法
点火や消火のとき		
● 運転ランプが点灯しない。 ● 点火しない。	● 3時間延長ランプが点灯していませんか？（消し忘れ消火装置が作動）	運転スイッチを入れなおす。または3時間延長ボタンを押す。
	● 電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込む。
	● チャイルドロックしていませんか？	チャイルドロックを取り消す。
● においがする。	● 油がこぼれたままになっていませんか？	乾いた布で完全にふき取る。
	● 変質灯油や不純灯油を使用していませんか？	新しい灯油と入れかえる。
	● 給油タンク受、油受皿に水がたまっていませんか？	給油タンク受、油受皿の水を抜く。（☞25、28ページ）
	● 運転中や消火直後に電源プラグをコンセントから抜きませんでしたか？	運転中や消火直後に電源プラグをコンセントから抜かない
● 初めて使用するときや、シーズンはじめに使用するとき煙やにおいが出る。	● 耐熱塗料やほこりが焼けるためです。	異常ではありません。
● 点火時に白い煙が出る。	● バーナー全周に炎がゆきわたるまでの間出るものです。	
● 点火時、消火時に「カチャ」と音がする。	● ノズルを開閉する弁の音です。	
●「パチパチ」、「ボッ」音がする。	● 点火放電や点火時の着火の音です。	
●「ピチピチ」音がする。	● 点火時、消火時に金属が伸び縮みする音です。	
● スピード点火したのにスピード点火しない。	● スピード点火セット中に停電や地震、強い衝撃がありませんでしたか？	運転スイッチを「切」にして、スピード点火をセットしなおす。
	● 点火する10分以上前にスピード点火をセットしてありましたか？	点火する10分以上前にスピード点火をセットしておく。
燃焼しているとき		
● 消火する。 ● ランプが正しく働かない。	● 電源に異常な雑音が入った。	電源プラグをコンセントから抜き再度入れる。
● 点火しても燃焼が弱く、部屋が暖まらない。 ● 炎の状態が悪く、黄火燃焼やにおいが出る。	● タールが付着しています。	クリーニングする。（☞26ページ）
	● 燃焼・温風空気取入口フィルターがほこりでつまっている。	燃焼・温風空気取入口フィルターを掃除する。
	● 換気不足のためです。	換気する。
● 燃焼部の一部が赤くなる。	● 炎に熱せられるためです。	異常ではありません。
●「コトコト」音がする。	● 電磁ポンプが動いている音です。	
●「ボコボコ」音がする。	● 燃焼中や消火後に油受皿に灯油が流れる音です。	
●「ピチピチ」音がする。	● 燃焼量が変化した時に金属が伸び縮みする音です。	
●「シュー」音がする。	● 気化した灯油が吹き出す音です。	
● 室内温度表示が異常である。	● 油切れになっていませんか？	給油する。（☞13ページ）
	● 室温センサーが直射日光に当たっていませんか？	直射日光の当たらない場所に移動する。
	● 本体に逆風が当たっていませんか？	本体に逆風が当たらないようにする。
タイマー予約しているとき		
● タイマー予約したのに運転しない。	● タイマー予約中に停電や地震・強い衝撃がありませんでしたか？	運転スイッチを入れなおす。

● 以上の項目にしたがって、処置しても異常がなおらない場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

異常のお知らせと処置のしかた

デジタル表示に自己診断表示が出たら…

安全装置が作動すると、運転ランプが点滅し、自動消火します。また、デジタル表示に故障・異常の原因（自己診断表示記号）がアルファベットと数字で点滅表示し、バックライト（赤）が点滅します。

デジタル表示（自己診断表示）	原因（安全装置）	処置方法
U 04 ● 掃除 表示点滅	● 燃焼・温風空気取入口フィルターがつまっていませんか？（過熱防止装置が作動）	燃焼・温風空気取入口フィルターを掃除する。
	● 温風吹出口がふさがっていませんか？（過熱防止装置が作動）	障害物を取りのぞく。
U 10	● 停電があった。（停電安全装置が作動） ● 電源プラグをコンセントに差し込むとき、運転スイッチが「入」になっていませんでしたか？	運転スイッチを入れなおす。
U 12	● 強い地震｛震度5（強）以上｝・衝撃を受けていませんか？（対震自動消火装置が作動）	地震によって作動した場合は、周囲の可燃物、機器の損傷、油のあふれなど異常がないか確認し、運転スイッチを入れなおす。
U 13 ● 給油 表示点滅	● 灯油がなくなっていませんか？	給油する。（☞13 ページ）
	● 給油タンク受に水やごみがたまっていませんか？	給油タンク受のお手入れをする。（☞25 ページ）
U 17	● 変質灯油や不純灯油を使用していませんか？	クリーニングする。（☞26ページ） 新しい灯油と入れかえる。（☞12ページ）
	● タールが付着しています。	クリーニングする。（☞26ページ）
U 18 ● 20 秒間音でお知らせします。 ● 換気 表示点滅。	● 室内の換気が不足していませんか？（不完全燃焼防止装置が作動）	必ず1時間に1～2回は換気する。
	● 燃焼部にシリコーン酸化物やタールが付着しています。	本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。

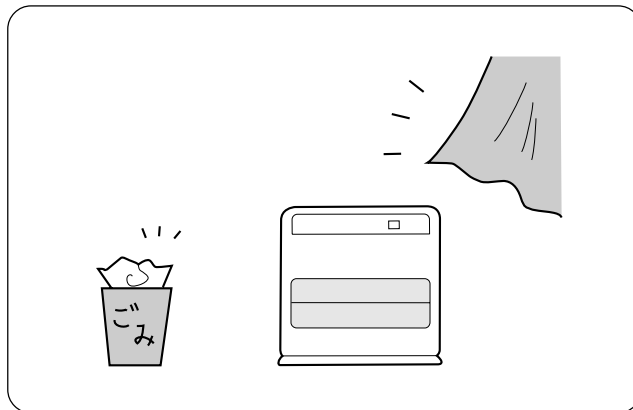
デジタル表示（自己診断表示）	原因（安全装置）	処置方法
H 31 ～ H 33	● 油受皿に水がたまっていませんか？	油受皿の水を抜き取る。（☞28 ページ）
	● 点火ミスまたは、燃焼に異常が発生していませんでしたか？（点火安全装置が作動）	本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。
H 36	● 燃焼・温風空気取入口フィルターがつまっていませんか？（不完全燃焼防止装置が作動）	燃焼・温風空気取入口フィルターを掃除する。（☞25 ページ）
	● 燃焼部にシリコーン酸化物が付着しています。揮発性シリコーン配合の枝毛用コート液・化粧品・つや出し剤などを使用していませんか？ ● 電磁ポンプにごみがつまっている。	本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。
H 50	● 燃焼・温風空気取入口フィルターがつまっていませんか？（過熱防止装置が作動）	燃焼・温風空気取入口フィルターを掃除する。（☞25 ページ）
H 60	● 燃焼・温風空気取入口フィルターがつまっていませんか？（過熱防止装置が作動）	燃焼・温風空気取入口フィルターを掃除する。（☞25 ページ）
	● 温風吹出口がふさがっていませんか？（過熱防止装置が作動）	障害物を取りのぞく。
H 68	● ルーバーが正常に動かない。	障害物を取りのぞく。
H 83	● 燃焼部にタールが付着しています。	本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。
その他、上記以外の表示又は全く表示しない場合	● 電源プラグを抜いて、再び差し込み、運転スイッチを入れなおす。	

上記の処置をしても、繰り返し表示するときや運転しないときは、運転スイッチを「切」にし、表示内容を確認して電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

日常の点検とお手入れのしかた

お使いのたびに点検を

■周囲の可燃物の確認

● ファンヒーターの周囲に、燃えやすいものがないか常に確認してください。

■油漏れ・油のたまり・油のにじみ

● 油漏れのある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、給油タンクを取り出してから、お買い上げの販売店にご相談ください。

■給油タンクの点検

● 給油口・口金にさび、変形、回転不良および破損があるときは、新しい給油タンク・口金と取り替える。お買い上げの販売店にご相談ください。

部品名：給油口口金
品　番：AOS355-HG50R

部品名：給油タンク（口金付）
品　番：AOS350-HG50R

1シーズンに2〜3回

■対震自動消火装置の点検

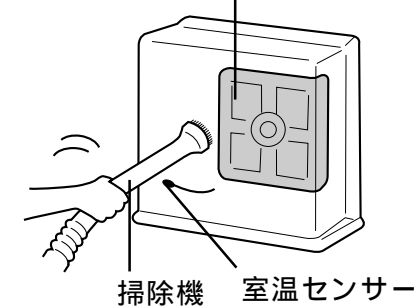
● 燃焼中、本体を水平にゆすって、確実に消火するか確かめる。

お手入れの前に

● 本体が冷えた後、電源プラグを抜いてから行ってください。
● 電気部品や安全装置は絶対に分解・調節しないでください。

週1回以上

燃焼・温風空気取入口フィルターの掃除

● 燃焼・温風空気取入口フィルターにほこりがつまると、液晶表示部に「掃除表示」が点滅します。
● ほこりは掃除機で吸い取る。
● 取れにくいほこりは歯ブラシなどで落としながら、掃除機で吸い取る。

お願い

● 灯油や灯油でぬれたほこりは、絶対に掃除機で吸わせないでください。室温センサーを曲げないように注意してください。
● 運転中は掃除機で燃焼・温風空気取入口フィルターの掃除をしないでください。異常燃焼を起こします。

1ヵ月に1回以上

本体・温風吹出口の掃除

● ほこりは掃除機で吸い取る。
● 油や汚れは、家庭用台所洗剤を薄めたものを付けた布でふき、かわいたやわらかい布でふき取る。

● 温風吹出口は、ほこりや白い粉がつき変色することがありますので、家庭用台所洗剤を薄めたものを付けた布でふき、かわいたやわらかい布でふき取る。

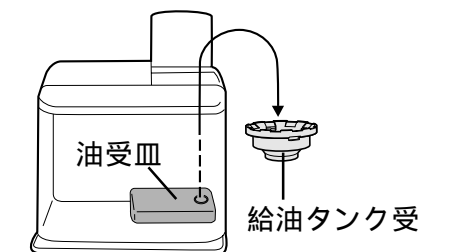
お願い

● 本体をベンジン・シンナーなどでふかないでください。

1シーズンに2〜3回

給油タンク受の掃除

● 灯油に水やごみが混入することがありますので、下記に従って掃除をしてください。

1 給油タンク受を取り出す
● ごみを油受皿に落とさないように。

2 給油タンク受のごみや水を取る
● 給油タンク受を逆さにし、新聞紙などの上に置いて取る。

3 給油タンク受をもとどおりにセットする

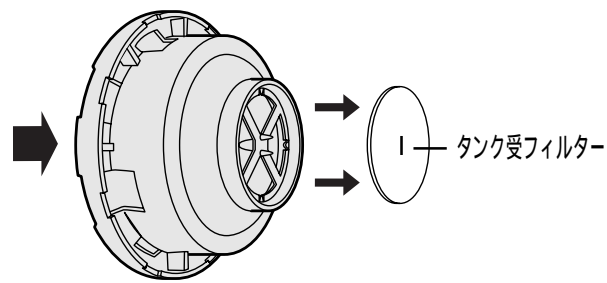
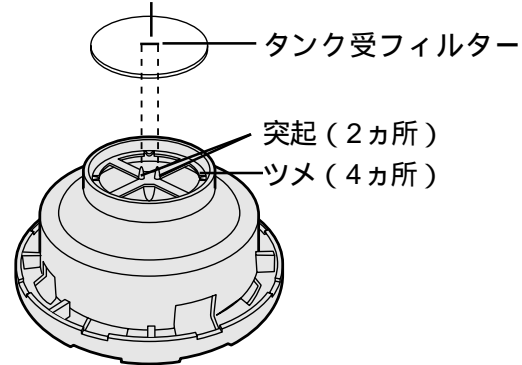
お手入れ・保管・その他

日常の点検とお手入れのしかた

汚れたり、灯油が通りにくくなったとき

タンク受フィルターの交換

● 汚れたり、灯油が通りにくくなった場合は交換してください。
（部品名：タンク受フィルター
品　番：A0S322-HG50R）

1 給油タンク受を取り出し、タンク受フィルターを矢印の方向に押して、タンク受フィルターをはずす

2 給油タンク受を逆さにし、タンク受フィルターのスリットを給油タンク受の突起（2ヵ所）に通し、ツメ（4ヵ所）で固定する

お願い

タンク受フィルターは必ず取り付けてください。取り付けないで使用すると、器具の故障の原因になります。

1シーズンに1回以上

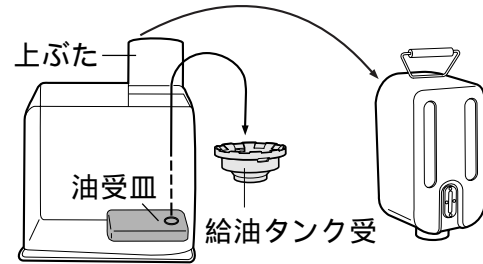
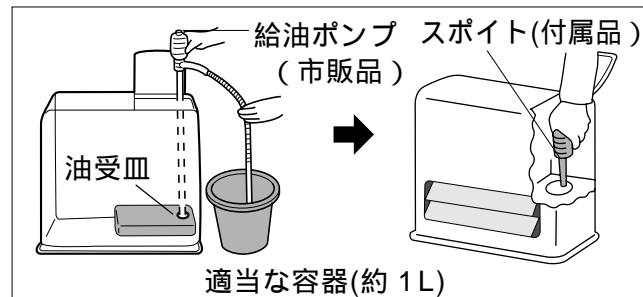
■クリーニング（から焼き）

灯油を気化させる部品にたまったタールを、から焼きすることにより取り除きます。

次のようなときはクリーニングをしてください。（クリーニングは約2時間かかります）
● デジタル表示に「U17」を表示したとき
● 点火しない、炎が小さい、黄火燃焼になる、においが強い
● シーズンの終わりでおしまいになるとき（またはシーズンの始め）

準　備　油受皿の灯油を完全に抜き取らないと空焼きにならずクリーニングできません。

① **ファンヒーターを室外に出す**
● クリーニング中はにおいや煙が出ます。

② **給油タンクと給油タンク受を取り出す**
● クリーニングが終了するまで取り出しておいてください。

③ **油受皿の灯油を給油ポンプで抜き、抜ききれないときは、灯油を付属のスポイトで抜く**
● 上ぶたを閉める。

手　順

① **電源プラグをコンセントに差し込む**

② **運転スイッチが「切」になっているか確認する**
● デジタル表示に「U10」表示しているときは、運転スイッチを「切」にしてください。
● 運転スイッチが「切」でないと、次の操作ができません。

③ **クリーニングボタンを約3秒間ピッと音がするまで押しつづける**
● デジタル表示にが表示されます。

④ **運転スイッチを「入」にする**
● 運転ランプが点灯して、デジタル表示の表示が「C8」になり、クリーニングを開始します。

⑤ **「C0」表示が点滅するまで放置する（約2時間かかります）**
● デジタル表示が「C8」→「C7」→「C6」…と変わり、「C0」表示が点滅すると、クリーニングは終了です。

⑥ **運転スイッチを「切」にする**

クリーニングが終わったら

引き続き使用されるとき（シーズン中）

① 取り出した給油タンク受を本体にセットする
② 給油タンクに新しい灯油を給油して本体にセットし、約1分後に運転スイッチを「入」にする

おしまいになるとき（シーズン終わり）

① 電源プラグをコンセントから抜く
② 取り出した給油タンク受を本体にセットする
③ 給油タンクを空の状態にして本体にセットする
④ 以後は、「保管のしかた」にしたがって保管する（☞29ページ手順「5」以降）

お願い

● 誤って不良灯油を使用したために、クリーニングするとき1回で完全に回復しない場合は、2～3回行ってください。
● クリーニングを途中で止めると効果がありません。「C0」表示になるまで行ってください。

お知らせ

● クリーニング中に移動したりすると表示が点滅状態になり、運転を停止します。運転スイッチを「切」にし、再度手順③からやり直してください。
● クリーニング中は電磁ポンプの空打ち音（ポコポコ）がし、送風になりますが、異常ではありません。
● クリーニング中「カチッ」「カチッ」と音がして、照明が一瞬変化することがありますが、異常ではありません。

お手入れ・保管・その他

日常の点検とお手入れのしかた

デジタル表示に「H31～H33」を表示したとき

油受皿に水がたまっている場合があります

■油受皿の水の確認のしかた　明るい場所で、給油タンク受を取り、油受皿の中を見ると灯油と水が分離して二重に見えます。このようなときは、油受皿に水がたまっていますので、下記の手順にしたがって、油受皿の水抜きをしてください。

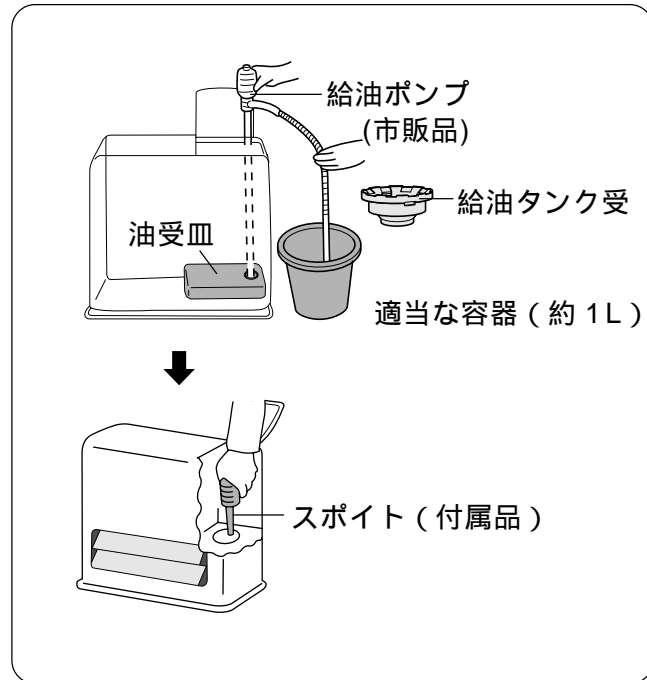
1 市販の給油ポンプと付属のスポイトで灯油を抜き取る

● 抜いた灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

2 給油タンク受をセットし、給油タンクに新しい灯油を給油する

3 給油タンクを本体にセットし、約１分待って運転スイッチを「入」にし、再点火する

● このとき白煙が出ることがあります。

4 １回で点火しなかった場合、再び点火操作する

定期点検について

定期点検のおすすめ（2シーズンに1回）

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要になります。
2シーズンに1回程度、シーズン終了後などに、お買い上げの販売店または修理資格者【財団法人日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など】のいる販売店などにご相談され、点検依頼されることをおすすめします。

部品交換について

お買い上げの販売店へご依頼ください

交換部品は石油ファンヒーターをお買い上げの販売店でお求めください。必ず「ナショナル石油ファンヒーター」の純正部品をお使いください。
不完全な修理は危険です。お買い上げの販売店または財団法人日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）などのいる販売店などで修理をお受けください。

消耗・劣化しやすい部品

● 使用期間により交換が必要な部品
電極ユニット、ホエンバンU、燃焼筒、タンク受フィルター、電磁ポンプフィルター、アースリング

● 変質灯油、不純灯油の使用により劣化しやすい部品
タンク受フィルター、電磁ポンプ、気化器、温風吹出口、電磁ポンプフィルター、ソレノイド

別売品

品名	品番	希望小売価格
変質灯油検知管（チャロンボ）	品番：ASP-14（1本入り）	希望小売価格　200円（税別）
変質灯油検知管（チャロンボ）	品番：ASP-02（3本入り）	希望小売価格　400円（税別）
タンク受フィルター	品番：AOS322-HG50R	希望小売価格　200円（税別）
給油口口金	品番：AOS355-HG50R	希望小売価格　1,000円（税別）
給油タンク（口金付）	品番：AOS350-HG50R	希望小売価格　4,700円（税別）

※希望小売価格（税別）は2002年3月現在のものです。

保管のしかた

長期間使わないとき

1 給油タンクを取り出し、灯油を抜き取る
● 水、ごみを残さない。（さび、穴あきの原因に）

2 給油タンク受の掃除をする
（☞25ページ）

3 消火するまで燃やし切り、油受皿内の灯油を付属のスポイトで抜き取る
● 水、ごみを残さない。（さび、穴あきの原因に）
● 急ぐ場合は市販の給油ポンプで油を抜く。
● 給油タンク受、給油タンクを本体にもどす。

4 クリーニング（から焼き）する
（☞26ページ）
● バーナーの寿命を延ばし、長くご使用いただくためです。

5 本体、燃焼・温風空気取入口フィルター、温風吹出口を掃除する
（☞25ページ）

6 電源コードを束ね、付属のスポイトとともにコードホルダー差し込み穴に差し込む
（☞7ページ）

7 乾燥した場所に保管する
● 傾けたり、横倒しにしない。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・使いかた・お買い物
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この石油ファンヒーターの補修用性能部品を、製造打ち切り後６年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

・21～23ページの表に従ってご確認のあと、直らないときはまず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  - 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  - 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  - 出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	石油ファンヒーター
品　番	OH-J33D
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは365日）
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0102